

HANARO

HANARO はなる

High-flux Advanced Application Reactor 1995年2月に臨界に達した研究炉HANAROは、韓国原子力研究所（KAERI）の主要施設である。この原子炉は、オープン・プールのタンク型炉で、低濃縮棒状燃料を使用し、最大熱中性子束 $2\sim 3 \times 10^{14} \text{n/cm}^2 \cdot \text{s}$ 、熱出力30MWの中性子束密度の高い新型研究炉である。医療用・産業用RI生産、中性子ビーム利用、中性子ラジオグラフィおよび中性子放射化分析が行われているほか、ボロン中性子捕捉療法（BNCT）が可能であり、冷中性子源施設なども整備されている。炉心および反射体領域にある計22本の照射孔がRI生産のために使用されるが、そのうちの4本がカプセル照射用にそして17本がRI生産用に供される。残り1本は水圧移送システム（HTS）を装備した照射孔である。（図1）

<登録年月>

2007年02月
